

Space Designer検定試験 2019年度 試験問題

ミッドセンチュリースタイルの女性専用シェアハウスの共用リビング

配布された資料と3次元データ・テクスチャ画像などをもとにリビング・ダイニング・キッチン部分の3次元モデルを作成し、下記に指定されたパース画像の作成、および提案書の作成を行うこと。

★提出ファイルについて

◎パース画像（基礎課題、応用課題共通事項）

ファイル形式：JPEGファイル（ファイルサイズ 各5Mバイト以下）

アスペクト（縦横）比：自由（作画の意図による）

画像：見栄えを考慮し、受験者の判断により色およびサイズを調整すること。

カラー：24ビットカラー（1,677万色）／RGB

◎提案書（応用課題）

ファイル形式：PDFファイル

用紙サイズ：A3（横長）1枚

※採点評価はすべて紙出力ではなくモニター画像での目視による

●基礎課題 パース画像の作成 画像データ4点

配布資料の指示に従って共用リビング・ダイニング・キッチン部分のモデリングを行い、照明器具、ダイニングセットなど指定の家具を配置し、テクスチャや光源を指示に従って設定し、平面図「①～④」の矢印で示すパース画像を作成しなさい。

視点（高さ）、仰俯角、画角＝レンズ焦点距離の設定などは、指示された空間を最適に表現出来るよう受験者が判断すること。場所は東京近郊とし、時刻は秋分の日の午前10時前後で晴天の日を想定すること。上階のバルコニーの位置などを考慮に入れ、太陽光の入射角を推測すること。また、光源の状態がわかるよう、照明器具配置図に指示された全ての照明器具を配置し、点灯された状態を表現すること。

①共用リビング掃出し窓側から共用ダイニング・キッチンを見たパース画像（パース画像番号1）

概ね矢印①に示す方向から見た、共用リビング・ダイニング・キッチンを表現すること。

配置したダイニングセット、キッチン前のカウンター、ハイチェア、スポットライト照明、ペンダント照明、キッチン壁タイル基点などが表現されていること。

②共用リビングのキッチン脇から入口と共用ダイニングを見たパース画像（パース画像番号2）

概ね矢印②に示す方向から見た共用リビング・ダイニングを表現すること。

配置したキャビネット、飾り棚、ダイニングセット、スポットライト照明、ライン照明などが表現されていること。

③共用ダイニングから共用リビング全体を見たパース画像（パース画像番号3）

概ね矢印③に示す方向から見た共用リビングを表現すること。

共用リビングの窓、カーテンボックス、配置したキャビネット、飾り棚、ライン照明、床タイル基点などが表現されていること。

④共用ダイニングから共用リビング・キッチンを見たパース画像（パース画像番号4）

概ね矢印④に示す方向から見た共用ダイニング、リビング、キッチンを表現すること。

共用リビング・ダイニングの窓、配置したダイニングセット、ハイチェア、ペンダント照明、天井段差などが表現されていること。

■基礎課題 提出物

ファイル名：1～4のパース画像番号（半角）

上記パース画像4点を、1つのフォルダ（フォルダ名：A 半角とする）に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

※この課題においては、冷蔵庫、TV、ウインドートリートメント、ラグマット、インテリア小物、その他添景、受験者の判断によると指示のある家具などは配置しないものとする。

●応用課題 完成パース画像1点（基礎課題①のアンクルで作成した完成パース） 提案書作成（空間コンセプトをまとめたもの）

基礎課題で作成した3次元モデルをもとに、インテリアエレメントおよび添景をCADソフトまたは画像処理ソフトにより付加し、インテリアイメージとしてパース画像を完成させる。完成させたパース画像とともに、デザインコンセプトやイメージカラーなどをまとめ、提案書を作成すること。

I. パース画像の作成

矢印①で示したアンクルの完成パース画像を必ず作成し、ファイル名：11として提出すること。

下記に示す「ライフスタイル・インテリア提案の背景」「インテリアコーディネーターからの要望事項」から、この部屋のイメージに合うイージーチェアなどの家具、TV、冷蔵庫、ウインドートリートメント、ラグマット、インテリア小物、グリーン、アートとともに、人物、ペット等の添景を配置すること。指定のない部分に関しては、形状、サイズ、個数、色、材質その他も受験者の判断による。

II. 提案書の作成

Iで作成したパース画像を中心に、イメージ画像、コンセプト、メッセージ、イメージカラーなどをバランスよくレイアウトして提案書を作成すること。それ以外に受験者がインテリアを表現するのにふさわしいと判断したアンクルで2点以上のパース画像を作成し、合わせて3～5点のパース画像を提案書に入れること。受験者の判断で、時刻などを想定して光の演出をしてもよい。

基礎課題で指示された以外のアンクルでパース画像を作成してレイアウトしてもよい。

デザインコンセプトに合ったタイトルデザイン、フォントおよびフォントサイズを使用すること。

■ライフスタイル・インテリア提案の背景

シェアハウスの企画運営会社からのご依頼

マンスリーマンションをリノベーションするにあたり、その一部20室程度を、独身女性を対象としたシェアハウスにするという企画があり、明るく魅力ある共用のリビング・ダイニングのイメージが欲しいとのご依頼です。

プライベートな空間を大切にすることをコンセプトに、各個室にはキッチン、バス、トイレが設置されています。ゆったりとした共用のリビング・ダイニングには、充実したキッチンも併設。大型テレビなども置いてゆっくりとくつろげる場にするとともに、料理を囲んで入居者同士の輪を広げるようなイベントなども企画したいとのこと。

■インテリアコーディネーターからの要望事項

・個室設備も充実しているシェアハウスのため、通りがかった住人が立ち寄りたくなるよう、明るくポップなイメージの

ミッドセンチュリー家具を配置し、自然と人が集う、活力のある空間としたい。

・共用リビングは、カウンターの6席に加えて6人程度が利用できるよう考慮すること。

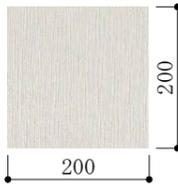
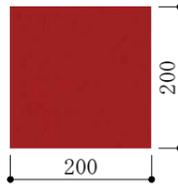
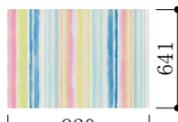
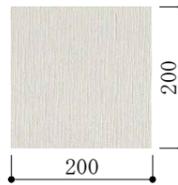
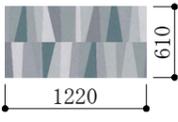
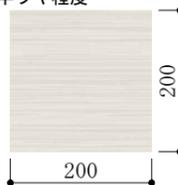
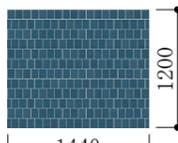
・ホワイトを基調とした清潔感のある空間に、カラフルな色合いの家具をアクセントにすることで、楽しいイベントを盛り上げるようなものとした。

■応用課題 提出物

パース画像 ファイル名：11（半角）

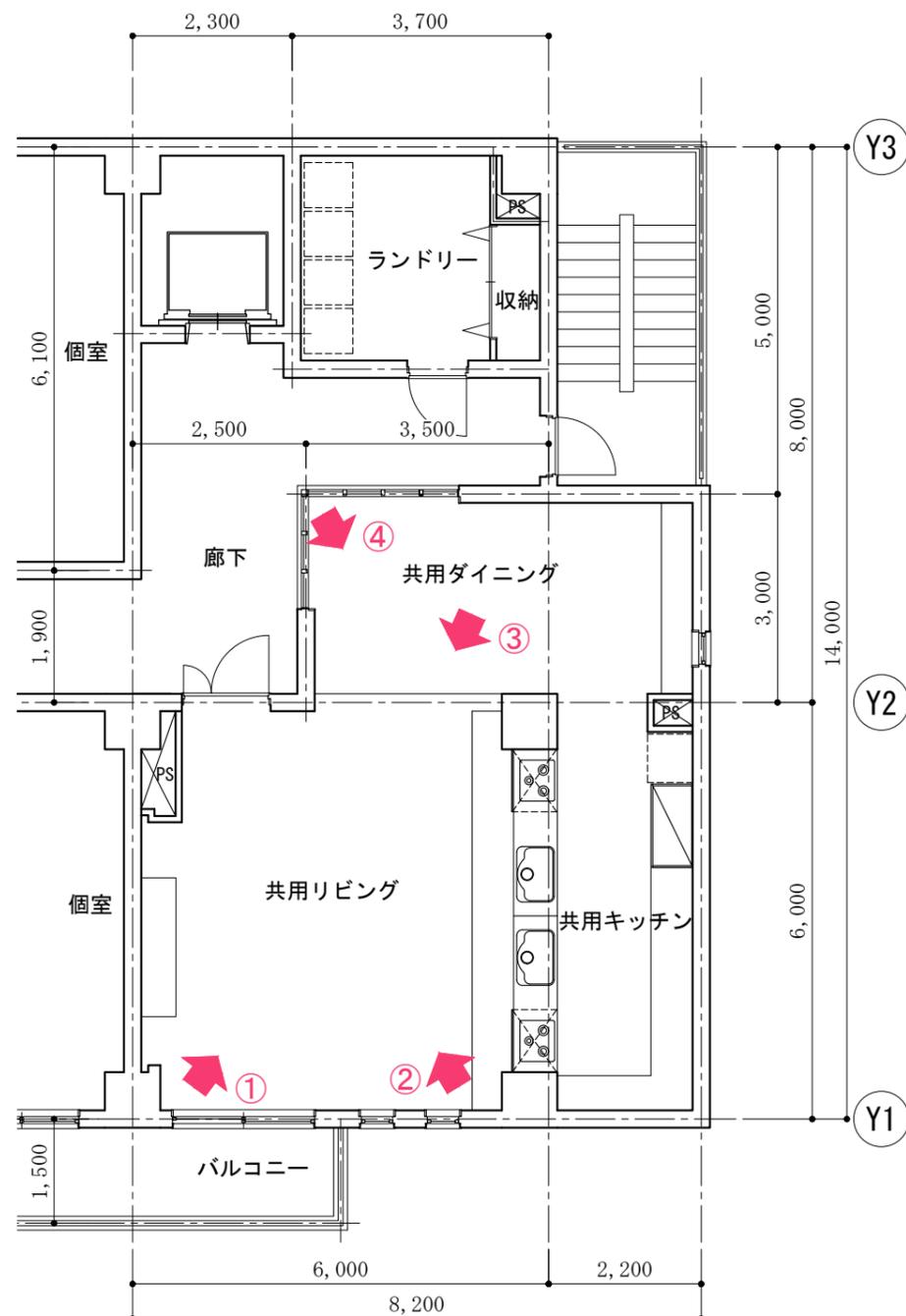
提案書 ファイル名：12（半角）（ファイルサイズ 30Mバイト以下）

パース画像と提案書を、1つのフォルダ（フォルダ名：B 半角とする）に入れ、ZIP形式で保存し、「マイページ」にアップロードすること。

内部仕上表						
室名	床	巾木	壁	天井	天井高	備考
共用リビング	タイル t=10 タイルA 画像ファイル名:ti_A.jpg 仕上:ツヤなし  (画像提供:株式会社LIXIL) タイル1枚の大きさを600×300として、 テクスチャへの割り当てサイズを判断すること。 平面詳細図「床タイル割付基点」に位置合わせの こと。	堅木 H=60 受験者の判断による。	クロス貼 石膏ボード t=12.5下地 クロスA 画像ファイル名:wp_A.jpg 織物調 光沢なし  クロスB 画像ファイル名:wp_B.jpg 光沢なし  (画像提供:株式会社サンゲツ) クロスC 光沢なし 画像ファイル名:wp_C.jpg  (画像提供:株式会社サンゲツ)	クロス貼 石膏ボード t=9.5下地 クロスA 画像ファイル名:wp_A.jpg 織物調 光沢なし  (画像提供:株式会社サンゲツ)	2,600	カーテンボックス:クロス巻き込み キャビネット テクスチャ画像なし 受験者の判断による 基礎課題 応用課題で色などを変更しても構わない 飾り棚 テクスチャ画像なし 受験者の判断による 基礎課題 応用課題で色などを変更しても構わない カウンター 天板・側板:人造大理石 画像ファイル名:ma.jpg 仕上げ:半光沢程度  (画像提供:安心計画株式会社)
共用ダイニング 共用キッチン	塩ビタイル t=2.5 塩ビタイル 画像ファイル名:pv.jpg 仕上:ツヤなし  (画像提供:株式会社サンゲツ) 塩ビタイルの貼り方は、受験者の判断によるもの とする。	堅木 H=60 受験者の判断による。	クロス貼 石膏ボード t=12.5下地 タイル貼 キッチンパネル貼 クロスA 共用リビングと同じ クロスD 光沢なし 画像ファイル名:wp_D.jpg  (画像提供:トキワ産業株式会社) キッチンパネル 画像ファイル名:pa.jpg 半ツヤ程度  (画像提供:安心計画株式会社) タイルB 画像ファイル名:ti_B.jpg 半ツヤ程度  (画像提供:株式会社LIXIL) インテリア立・断面図「タイル割付基点」に位置合わせのこと。	クロス貼 石膏ボード t=9.5下地 クロスA 共用リビングと同じ	2300	システムキッチン カウンター収納 収納 カウンタートップ:人造大理石 白色系 画像なし 扉の割付・色・取手及びデザインは受験者の判断による 共用キッチン カウンター上部 棚 カウンター(共用ダイニング) テクスチャ画像なし 受験者の判断による

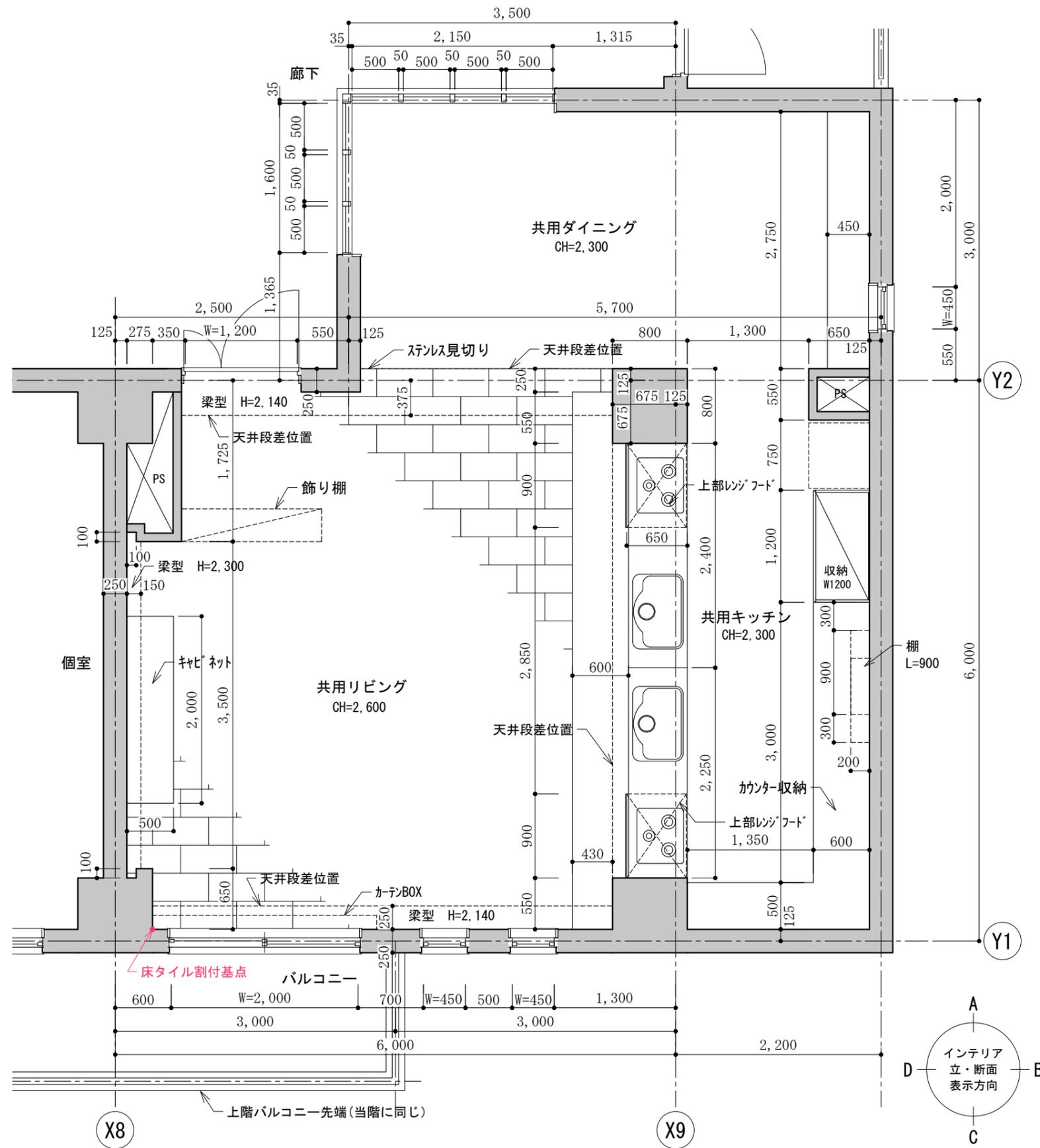
その他 注意事項

外部建具	外部建具の色・素材については受験者の判断によるものとする。 ガラスの表現は、受験者の判断によるものとし、外部(バルコニー等)の表現はしなくてもよい。
内部建具	親子扉・取手のデザイン、および、色・素材については受験者の判断によるものとする。 廊下側、FIXのガラスは、インテリア立・断面図の表記によるものとする。
造作材	建具枠材、見切縁などの造作材の素材については、受験者の判断によるものとする。
バルコニー	バルコニーおよび外壁などは採点対象外となるため、モデリングを行わなくてもよい。 ただし、太陽光の入射角を表現するために上階バルコニーのモデリングが必要な場合は、受験者の判断によって作成すること。

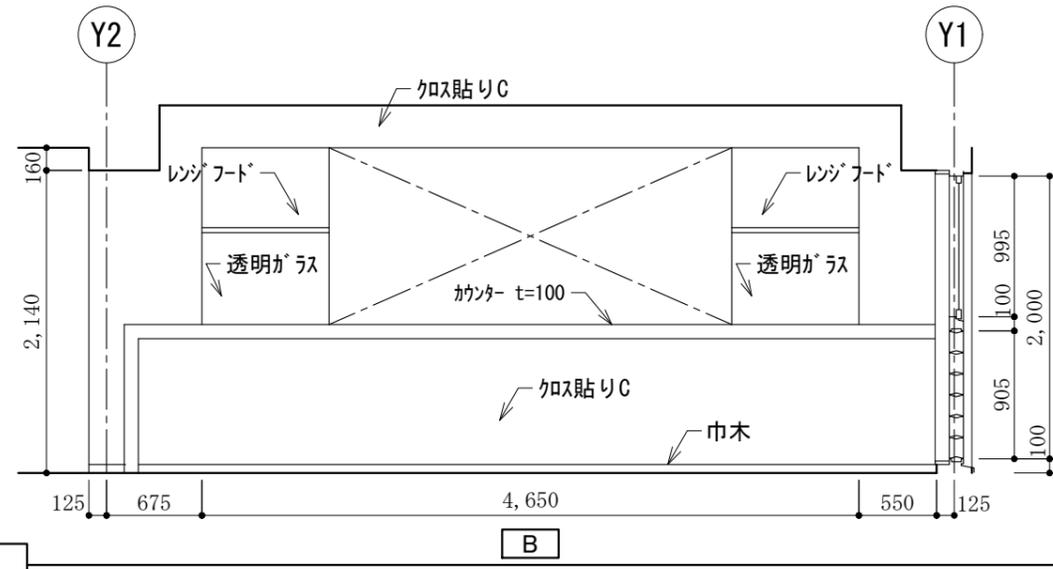
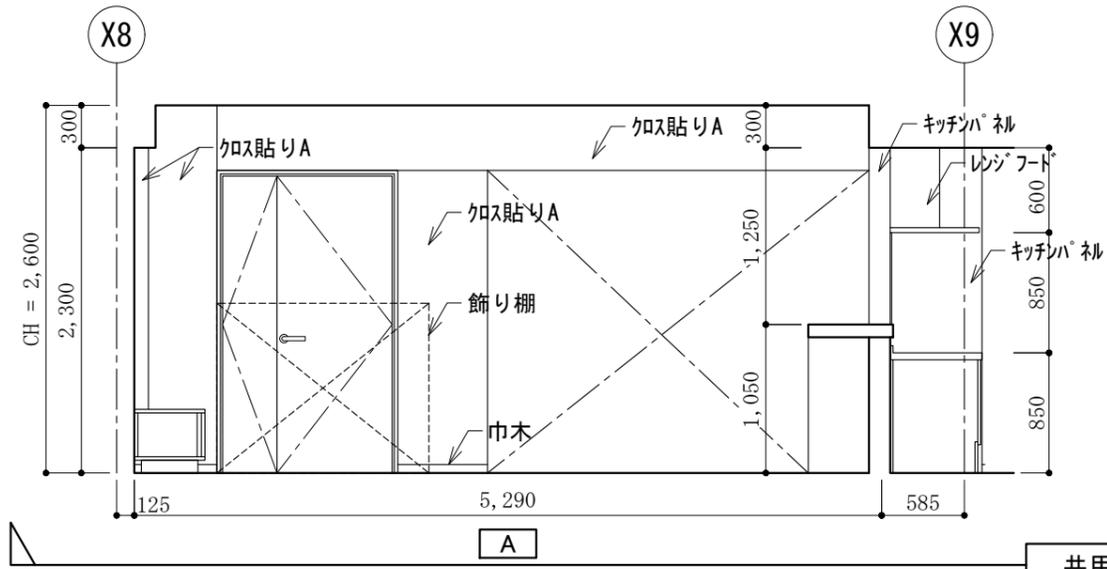


共用部分平面図 縮尺 1 : 100

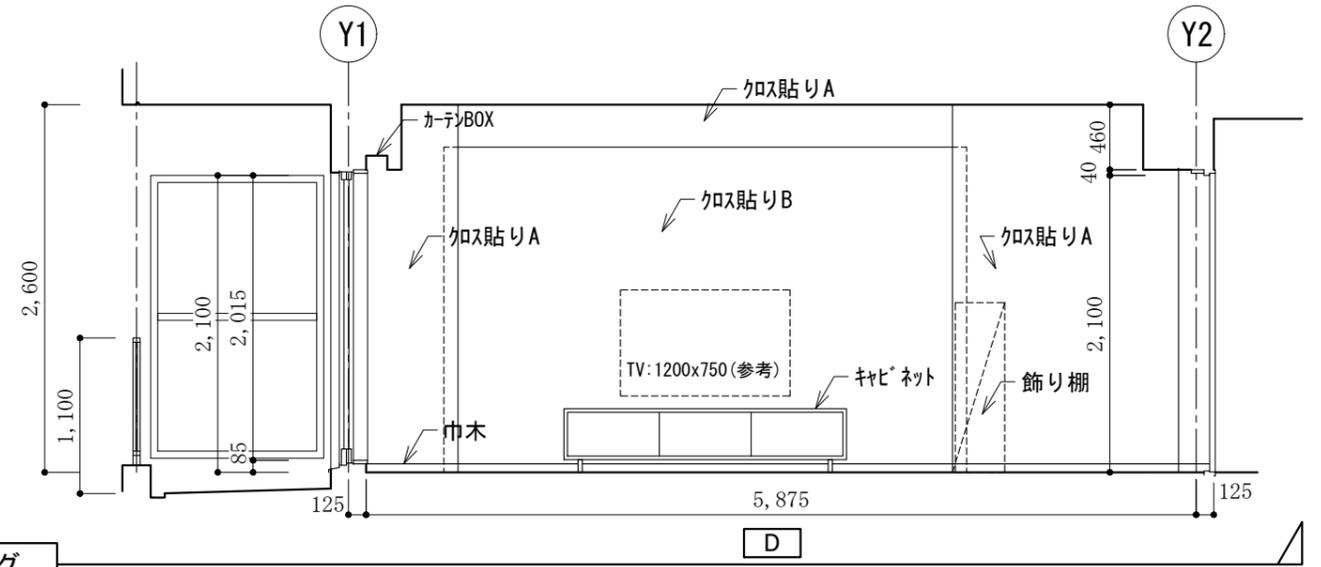
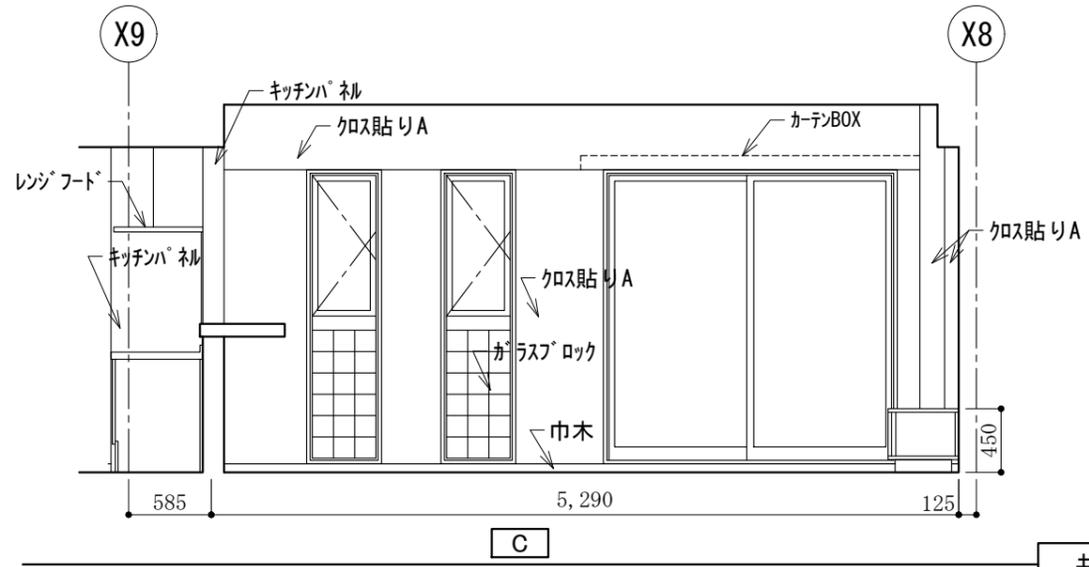
矢印と番号は、パースを作成する際のアングルを指示するもの



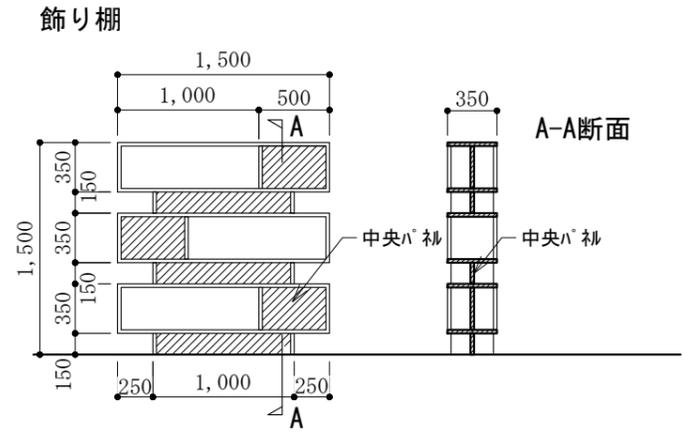
共用リビング・ダイニング・キッチン 平面詳細図 縮尺 1 : 50



共用リビング



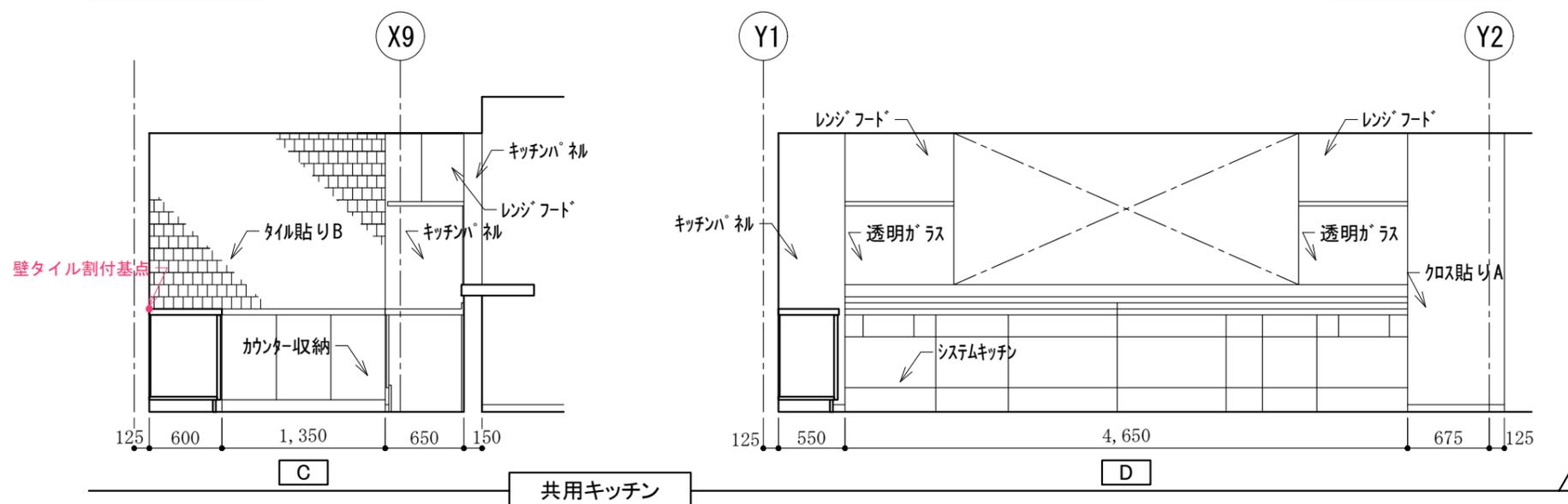
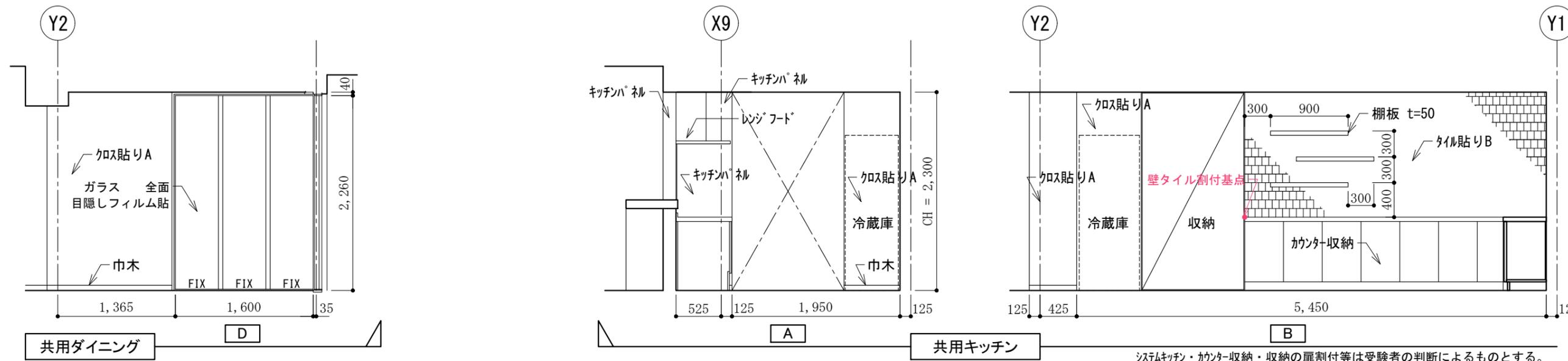
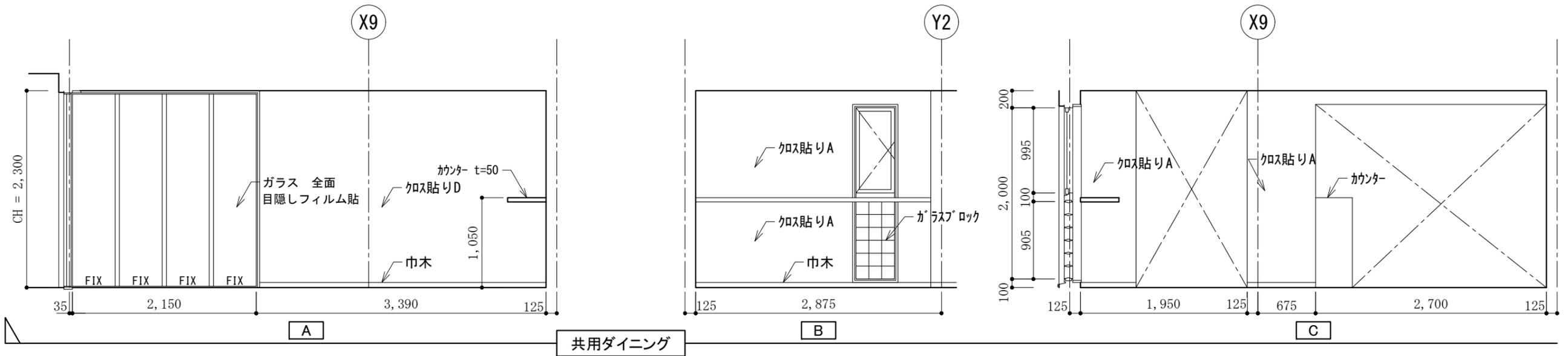
共用リビング



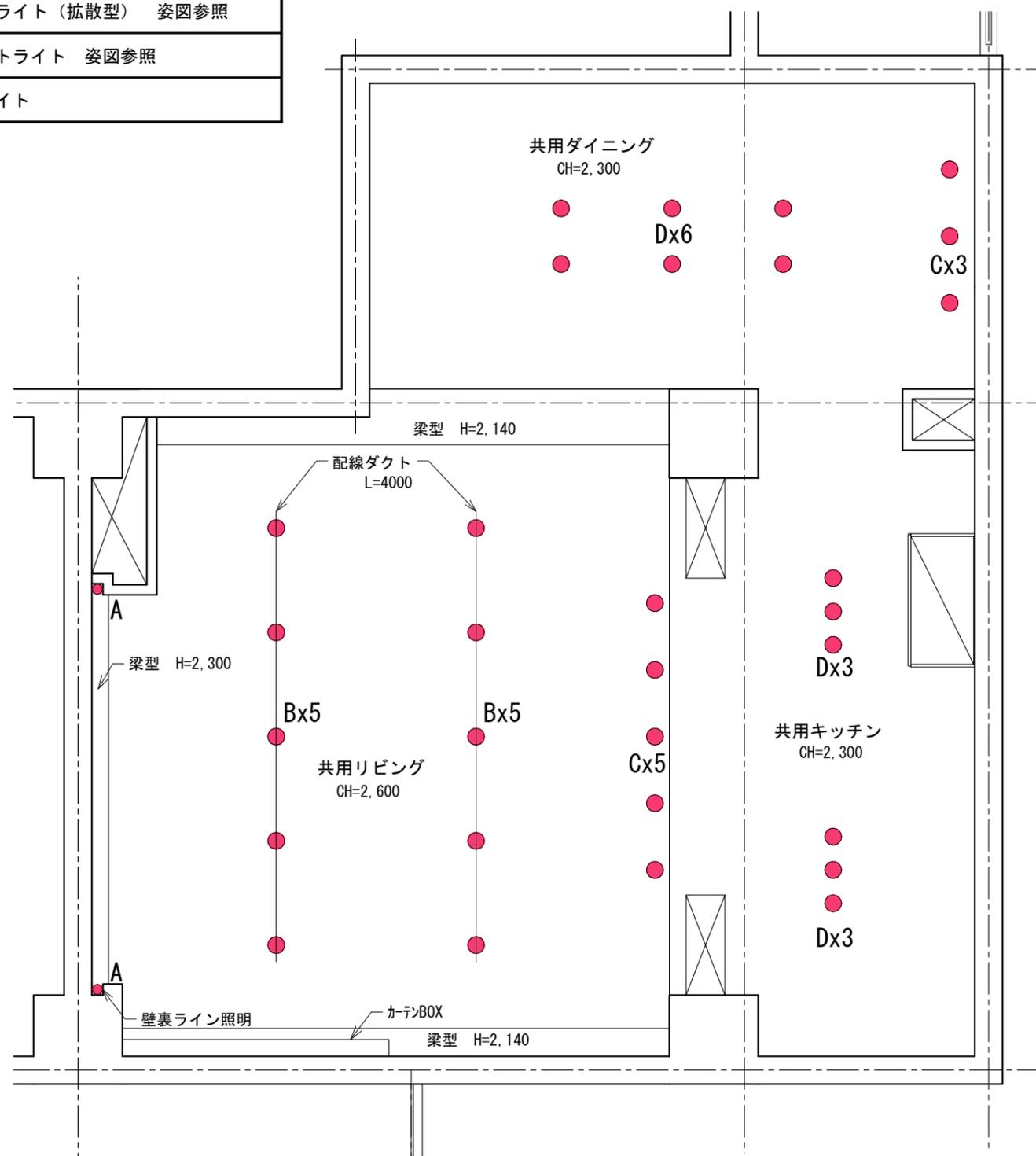
ガラスブロック
画像ファイル名: gb.jpg



ガラスブロック1個の大きさが約150×150として、
テクスチャへの割り当てサイズを判断すること。
インテリア立・断面図のガラスブロック割付に合わせること。

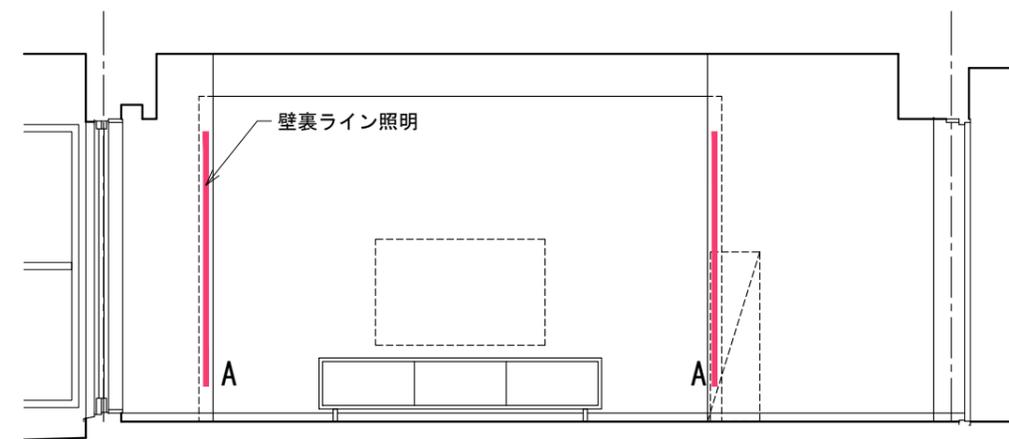


照明器具 凡例	
A	ライン照明 (コーニス照明 他)
B	スポットライト (拡散型) 姿図参照
C	ペンダントライト 姿図参照
D	ダウンライト



注：照明器具の詳細な設置位置寸法は指定しないので、概ね図面と同じ位置になるよう配置すること。
スポットライトに関しては、位置、角度を適宜調整のこと。

共用リビング・ダイニング・キッチン 照明器具配置図 縮尺 1:50



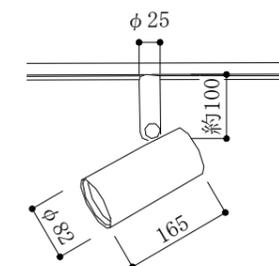
共用リビング 壁面 照明器具配置図



画像提供：パナソニック株式会社

B スポットライト (拡散型)

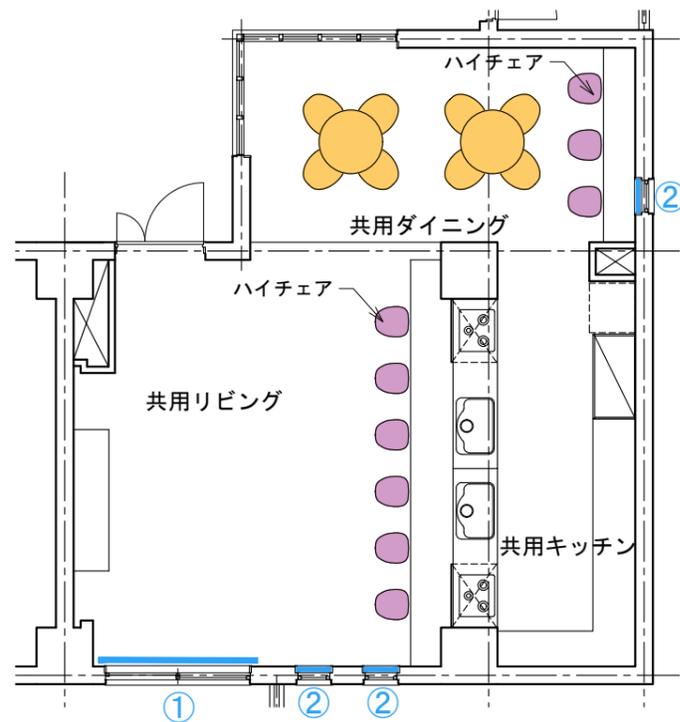
本体：アルミダイカスト (ホワイト) テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：φ82 ダクト配線タイプ
 姿図を参考にモデリングを行うか、使用しているソフトに登録されているシンボルを使用して、同じイメージになるよう作成すること。イメージ画像に近い雰囲気となるようテクスチャを付加し、光源を設定すること。



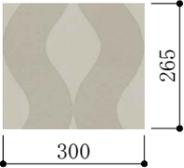
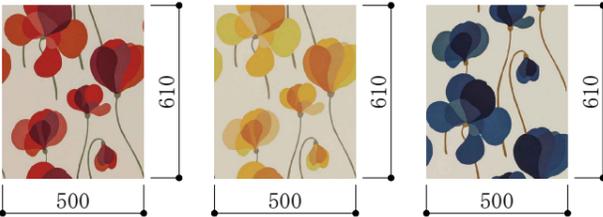
画像提供：パナソニック株式会社

C ペンダントライト

本体：鋼板、グリーン塗装 (内面白塗装) テクスチャ用 提供画像ファイルなし
 サイズ：セードφ125 H180程度
 ペンダントライトは、下端FL+1700に配置すること。
 配布された3DSまたはDXFデータを読み込むこと。
 イメージ画像に近い雰囲気となるようテクスチャを付加し、光源を設定すること。
 ソフトによりデータの読み込みができない場合は、イメージ画像を参考にモデリングを行うか、使用しているソフトに登録されているシンボルを使用して、同じイメージになるよう作成すること。



インテリアエレメント プロット図 縮尺 1 : 100

ウインドトリートメント	
①	②
<p>ローマンシェード ドレープ：ポリエステル100% 指定のない部分の仕様については任意とする。</p> <p>画像ファイル名: wi_A.jpg</p>  <p>(画像提供：株式会社サンゲツ)</p>	<p>ロールスクリーン スクリーン：ポリエステル100% 指定のない部分の仕様については任意とする。 下記、3画像の中から選択して使用すること。 場所により違うものを使用しても構わない。</p> <p>画像ファイル名: wi_B.jpg wi_C.jpg wi_D.jpg</p>  <p>(画像提供：株式会社サンゲツ)</p>

ダイニングチェア	ハイチェア	その他
<p>ダイニングチェア (注1) 座面・フレーム：画像ファイルなし 素材・色 受験者の判断による W=480 D=520 H=860 SH=450</p> 	<p>ハイチェア (注1) 座面・フレーム：画像ファイルなし 素材・色 受験者の判断による W=450 D=460 H=960 SH=730</p> 	<p>共用リビングの家具レイアウト (ラグマット含む) は、受験者の判断による</p>
<p>ダイニングテーブル (注1) 天板・脚：画像ファイルなし 素材・色 受験者の判断による φ900 H=700</p> 		<p>注1：配布データを読み込むこと。 読み込めない場合は、ソフトに登録されているシンボルなどを編集、またはモデリングして、同じイメージになるよう作成すること。 色・素材は、基礎課題と応用課題で違っていても構わない。</p>